

「世界に誇る環境主都まつえ～リサイクル都市日本～」の実現を

# まつえ環境市民会議

第28号  
平成29年3月

「まつえ環境市民会議」は、自然環境の保全、ごみの減量、地球温暖化防止、環境教育の推進の4つのテーマを柱に、市民・事業者・行政が協力し、一人ひとりが身近な活動を実践しています。

## 体験型環境学習会

## 「環境にやさしい街づくり」～人と自然との共生について考える～



### 日時

平成29年3月5日(日)  
午前10時

### 場所

松江市川向  
リサイクルプラザ  
くりんぴーす

### 講師

島根県環境保健公社  
戸田 顕史氏  
石原 正彦氏

### ◀環境研修会

▼グループで考える

島根県環境保健公社 戸田顕史氏・石原正彦氏を講師に迎え「環境にやさしい街づくり」～人と自然との共生について考える～と題して環境学習会を開催。人間がそこに生活する中で地域の川や湖にどのような影響を与えるのか、実際に体験しながら学習しました。

グループに分かれて、宍道湖の健康を最大限に保全しながらの開発や、環境に配慮した街づくりについて考え、意見を発表しました。また、上流のきれいな水が下流に流れて行く中で、生活排水などの影響を受け、河口付近ではどんな水になるのか、CODテストを行い学習しました。

45名の参加者は、各グループの発表に熱心に耳を傾け、実際に見て、触れて日頃から環境意識をもって生活することが重要であることなど理解を深めました。



## シイタケの植菌体験



クヌギなどのほだ木にシイタケ菌の駒を打ち込む、植菌の体験を行いました。植菌体験も続けて行っており、参加した会員からは、以前植菌したほだ木にシイタケが生えていると好評でした。

## リサイクル体験



古布を使ったアームカバーと剪定枝を使った鉛筆型ブローチ作りのリサイクル体験を行いました。古布や剪定枝とは思えないきれいなでき上がりに皆さん感激していました。

松江市民公開シンポジウムに参加

# 「環境主都まつえの実現をめざして」

～未来のまつえを担う若い世代へ～



次世代へつなげるための環境施策について話し合う



基調講演  
環境省 中国四国地方 環境事務所  
原田幸也環境対策課長

環境保全について話し合う松江市民公開シンポジウムが松江市（環境保全部）主催により、平成29年2月12日（日）松江テルサにおいて開催されました。

基調講演では環境省が「地域の未来を考える環境省のツール」について講演。事例発表では島根大学の学生が、島根大学松江キャンパスの取り組みについて発表しました。

パネルディスカッションは「環境意識の高い人づくり」をテーマとして、コーディネーターに島根大学大学院教育学研究科教授松本一郎氏、パネリストに各種団体関係者、学生、松浦正敬松江市長ら6人が登壇して行われました。松江は歴史と豊かな自然を大切に残してきた街であることを再認識して、環境意識の高揚を図り、持続可能な社会、豊かな自然と環境を次世代につないでいく活動の重要性などが提言され、参加した180人が理解を深めました。まつえ環境市民会議の瀬崎輝幸代表は、活動の紹介をまじえ、「松江周辺は守りたいところが多く、環境について学べる場も多いので、豊かな自然を活用した活動をみんなで推進したい。学校など教育現場での環境問題への意識付けが重要である。」と熱く語りました。



教育による環境問題への意識付けが世代をつなぐ鍵と語る瀬崎輝幸代表

●コーディネーター

**松本 一郎氏**

島根大学大学院教育学研究科教授

●パネリスト

**池田 晴香氏**

島根大学生物資源科学部2年生

**大野 裕之氏**

松江工業高等専門学校環境・建設工学科5年生

**佐藤 尚士氏**

松江商工会議所環境福祉委員会委員長

**西村 圭介氏**

(公社)松江青年会議所理事長

**松浦 正敬氏**

松江市長

**瀬崎 輝幸**

まつえ環境市民会議代表

## 会員募集中

『環境問題について、一緒に考え活動してみませんか』

年会費 個人会員1,000円/1口 団体会員2,000円/1口 法人会員3,000円/1口

振込先 山陰合同銀行松江役所出張所 (普通) 3 6 0 8 8 9 3 まつえ環境市民会議

※「まつえ環境市民会議」は、みなさんの年会費で運営されます。

<http://www.shiminkaigi.jp/>

会員拡大に  
ご協力ください

申し込みは

事務局 TEL25-0881まで  
申込書はまつえ環境市民会議ホーム  
ページからダウンロードできます。

# 平成29年度事業計画について(素案)

平成29年度の事業計画については、2月9日に開催した役員会において計画策定の基本的な考えと具体的な事業計画(案)について協議しました。その結果、平成29年度事業については、持続可能な社会、美しい環境を次世代につなぐ活動、循環型社会の推進を重点課題とします。事業計画の最終(案)は、皆さんからのご意見を反映しながら策定し、その後、平成29年度の通常総会において決定いたします。

## ●全体事業

1. 2017松江市環境フェスティバル(11月5日、くにびきメッセ)

新しい発想で他団体との連携を行い、より効果的な開催を目指す。



松江市環境フェスティバル

## ●自然環境の保全

1. 里山の保全(楽山公園遊歩道周辺整備)  
「緑の募金公募事業交付金」事業として、3年計画の最終年で若竹の伐採と現地研修を行う。

2. 森林保全活動

- ・山陰中央新報社主催「さんいん環境キャンペーン」の植樹活動に参加する。
- ・上下水道局主催の忌部水源の森づくり交流会などの植樹活動に参加する。



忌部水源の森植樹

3. 宍道湖流域自然再生活動

- ・ヨシや藻の刈りとり等の自然再生活動に参加する。

## ●ごみ減量

1. 環境美化の啓発

- ・水郷祭の会場でのごみの持ち帰り啓発活動、翌朝の会場清掃に参加する。

2. 中海・宍道湖一斉清掃

- ・中海湖岸と宍道湖湖岸の清掃に参加する。



宍道湖一斉清掃

3. 漂着ごみ回収

- ・海水浴シーズン前後に海岸清掃を地元、市と協力して行う。

4. 循環型社会の推進

- ・レジ協寄付金を活用して、ごみの減量・リサイクルの推進・レジ袋削減などの啓発活動を行う。

## ●地球温暖化防止

1. グリーンのカーテン運動

ゴーヤの苗1万8千本と啓発パンフの配布、写真コンテストを行う。

2. 全市一斉ライトダウン、キャンドルナイト

市内の家庭、事業所に節電を呼びかける。啓発イベントとして松江城でのキャンドルナイト事業に参加する。



キャンドルナイトまつえ

3. エコドライブキャンペーン

しまね自然と環境財団に協力し、啓発活動を行う。

## ●環境教育の推進

1. 講演会、研修会

- ・環境講演会、研修会を実施する。

2. 会報の発行(年3回)

# 実施事業報告

## 忌部水源の森づくり交流会に参加



平成28年11月27日



水源の森でとれた  
材料でリース作り

## 省エネ住宅研修会に参加 (インテリア編)

平成28年12月8日



## 楽山公園整備 平成29年2月5日



整備された公園に28年度事業の標柱を立て  
公園内を散策

## 松江市民公開シンポジウムに参加



平成29年2月12日

## 環境学習会開催 平成29年3月5日



水質保全についてグループ発表

## ヨシ刈り取りボランティア活動 (宍道湖畔なぎさ公園)



平成29年2月25日

剪定枝を使った  
リサイクル体験



古布を使ったリサイクル体験

## 今後の日程 (予定)

- ・イオンゴーヤ苗配布 (5月4日) みどりの日
  - ・平成29年度通常総会 (5月19日(金) 午後1時30分) <にびきメッセ
  - ・ゴーヤ苗配布 (5月25日ごろ)
- ※活動への参加案内はあらためて行います。



## 会員の皆さんからの ご意見募集!

まつえ環境市民会議は、会員による組織です。今後の事業や組織運営などについて、会員の皆さんから建設的な意見等を募集いたします。事務局までメール、FAXなどでお寄せください。また、事務局は環境センターの2Fにありますので気軽にお立ち寄りください。

事務局

〒690-0826 松江市学園南一丁目20番43号 松江市環境センター内

Tel : 0852-25-0881 Fax : 0852-55-5497 メール : matsue@shiminkaigi.jp